

第 51 回薬物治療モニタリング研究会特別ゼミナールご案内

第51回特別ゼミナール

実行委員長 篠崎 公一

実行副委員長 渋谷 正則

薬物治療モニタリング研究会第 51回特別ゼミナールを下記の要領で開催する事となりました。

本ゼミナールでは「薬物投与設計の実際」をテーマとして、スモールグループディスカッション (SGD) による昨年と異なる TDM 実施症例を題材としたワークショップを行います。ワークショップは、実際の臨床現場に即した異なる二つのアプローチを研修できる内容としました。

すなわち、一日目はコンピュータ (PC) を使えない状況での投与設計法を検討し検討結果を PC を用いて検証します。二日目は PC を活用し、TDM ソフトウェア Opt.jpWin Spreadsheet を用いてページアン法による薬物動態解析と投与設計法の検討を行います。本ソフトウェアは、ユーザーインターフェースを一新したため使いやすくなりました。当ゼミナールでの限定配布のため、この機会にその機能と操作性および症例検討における有用性をぜひご確認下さい。

なお、本ゼミナールは、6 年制薬学部コアカリキュラムおよび実務実習コアカリキュラムの TDM に関する項目に準拠しています。実務実習での TDM 実習指導の充実ために、そして日常の TDM 業務のレベルアップのためにご活用下さい。また、薬学部学生の方々も実務実習の予習、復習、補習の機会としてお役立て下さい。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

記

テーマ : 『TDM 症例検討ワークショップ : 薬物投与設計の実際』

日時 : 1日目 平成 24 年 3 月 10 日(土) 9:00~17:10

2日目 平成 24 年 3 月 11 日(日) 9:00~17:10

場所 : 北里大学薬学部 1 号館5階

〒108-8641 東京都港区白金5-9-1

URL: <http://www.rgtdm.org/特別ゼミナール/>